



東原小キャラクター「かめっち」

校長室の窓から



座間市立東原小学校
電話 253-3145

間もなく2学期も終業式を迎えます。今学期も、いろいろな場面で子どもたちの頑張る姿や笑顔を見ることができ、大変うれしく思っています。保護者の皆様にも、本校の教育活動にご協力いただきまして、ありがとうございました。よいお年をお迎えください。



クイズを解きながら学校案内！



アーン小学校との交流



花道を作ってお別れ！

みんなそれぞれ ちがっているって すてき

今年度も、アメリカキャンプ内のアーン小学校との交流がありました。5年生・6年生が参加し、英語を使ったコミュニケーションをドキドキしながら楽しんでいました。一生懸命コミュニケーションをとろうとする子どもたちの姿に、子どもたちの力はすごいなあ！と感じました。

「What sports do you like?」と質問して、「I like basketball.」と返ってくると、「同じ同じ。」と笑顔になっていました。このとき、「同じ」の日本語に意味はわからなくても、表情と身振りでできっと伝わっていると思いました。もちろん、その後で「Me too.」と付け加えていました。他にも、教室移動するときには「Let's go P's labo.」と声をかけるなど、案内しよう・使える英語は使おう・楽しんでもらいたいという思いが伝わってきました。言葉が通じ合うこと以上に、互いを知ることの大切さを感じます。

5年生は初めに一緒にダンスを踊りました。緊張気味だった子どもたちも笑顔になって踊っていました。進行役の教員が、その場の雰囲気を察知してプログラムにない1曲(キャンプで踊った「ジンギスカン」)を追加したほどです。コミュニケーションをとるということは、言葉だけではないことがよくわかります。一緒に時間を共有すること・一緒に同じことに取り組むことが、コミュニケーションの第一歩になると思いました。

アメリカの子どもたちと先生方が体育館に勢ぞろいすると、「人はみんな違うんだな。」ということを再認識します。目の色、髪の毛の色、肌の色、使う言葉・・・それは、日本人の中でも同じです。身長、性格、好きなもの、苦手なもの・・・同じ人は一人もいません。そして、みんな一人ひとり世界にたった一人しかいない大切な存在です。

私が好きな絵本に、ピーター・スピアーさんの『せかいのひとびと』があります。その絵本には、「地球には70億人ものひとがいる(現在は約80億人)けれど、生まれた時からみんな一人一人ちがっているんだ」とあります。何かが違うからといって特別ではなく、それぞれ違う人たちが当たり前のように一緒に過ごせる学校、世界にしたいものです。最後のページにはこんなふうにあります。「ほらね わたしたち みんながみんな それぞれ こんなに ちがっているって すてきでしょ?」

学校には、それぞれ違った人が、子どもも先生もたくさんいます。学校に関わってくれる人もたくさんいます。みんな違って、みんなも自分もすてき！と思えるといいなと思います。